

自治体とは何か・公務員とは何か 目次

第1回 自治体の原像 03

― 原発災害避難自治体の事例から ―

- 一 自治体には三つの顔がある 03
- 二 原発災害避難自治体から考える自治体の原像 05
- 三 原発災害避難自治体から考える自治体の意味 08

- (1) 住民とは何か 08
 - (2) 住所とは何か 09
 - (3) 住民と住所の法制史 10
 - (4) 選挙権・被選挙権と住民要件 10
 - (5) 自治体の意義 12
 - (6) シチズンシップの多重性
(市民権を保障する自治体) 13
- 受講者との問答 14

第2回 自治体のいま 18

― 分権改革後の国―自治体関係から ―

一 二〇〇〇年分権改革と市町村合併 18

- (1) 二〇〇〇年分権改革の成果 18
- (2) その背景となる考え方 18
- (3) 二〇〇〇年分権改革が成立した背景(混声合唱) 19
- (4) 二〇〇〇年分権改革で残された課題 20
- (5) 二〇〇〇年分権改革によつて生じた課題 21

二 ポスト分権改革の二〇年 22

- (1) 「正史」から排除された地方分権改革推進会議 22
- (2) 「義務付け枠付け緩和」路線へ 23
- (3) 提案募集方式の限界 24

三 自治体行政の現状―「地方分権」のものと集権化 25

- (1) 新潟県聖籠町町長からの問題提起 25
- (2) 法律に基づく市町村計画の増加 25
- (3) 計画策定の実質的義務化による新しい集権構造 27

四 事例：森林経営管理法 27

- (1) 森林経営管理法の概要 27
- (2) 国税森林環境税の概要 30
- (3) 二〇二九年度地方財政対策への反映 30

五 事例：地方版総合戦略策定過程 31

- (1) 国策としての「地方創生」から地方版総合戦略の

策定へ 31

(2) 地方版総合戦略全七市町村調査 31

(3) 「地方版総合戦略」の策定委託 32

(4) 国―自治体間関係 32

(5) 担当者の意見(自由記述) 32

■ 受講者との問答 34

資料

講義レジュメ 第一回～第三回 67～52
著者プロフィール 68

第3回

自治体の未来 37

―ノームコア(究極の普通)としての自治体―

一 「人口減少社会」の真相 37

二 「東京一極集中」の真相 39

三 自治体戦略二〇四〇構想研究会第二次報告

(二〇一八年七月) 40

(1) 目次 40

(2) 報告書の論点 41

四 第三二次地方制度調査会 42

五 ノームコア(究極の普通)としての自治体 47

(1) 人口減少における自治体イノベーション 47

(2) 人口減少下での地域政策のあり方 48

(3) 合併と広域連携との振り子運動からの脱却 48

■ 受講者との問答 49